

第221回 上級 原価計算 ①

問題1

問1 正常減損費 [④] 1,372,000 円

問2 月末仕掛品原価 [⑤] 2,940,000 円

当月完成品原価 [⑤] 10,831,500 円

計算過程 :

$$(1,695,000 + 8,385,000) \times \frac{400}{700+500+200+400} = 2,240,000$$

$$(375,300 + 3,404,700) \times \frac{200}{700+500+100+200} = 504,000$$

$$1,372,000 \times \frac{200}{700+500+200} = 196,000$$

$$1,695,000 + 375,300 + 8,385,000 + 3,404,700 - 2,940,000 - 88,500 = 10,831,500 \quad \textcircled{2}$$

問3 等価係数 A連産品 : B連産品 = 1 : [④] 0.2]

問4 月末仕掛品原価 [⑤] 2,940,000 円

当月完成品原価 [⑤] 10,920,000 円

問5 A連産品 [⑤] 9,555,000 円

B連産品 [⑤] 1,365,000 円

問6

1. そのまま外部に売却できるもの …… 見積売却価額－販管費（－利益見積額）
2. 加工のうえ売却できるもの …… 見積売却価額－加工費－販管費（－利益見積額）
3. そのまま自家消費されるもの …… これによって節約される物品の見積購入価額
4. 加工のうえ自家消費されるもの …… 節約される物品の見積購入価額－加工費

⑩

第221回 上級 原価計算②

問題2

問1

加給金とは作業に直接関係のある手当のことであり、定時間外作業手当、夜業手当、能率手当、

危険作業手当等が該当する。 ⑩

問2

借方科目	金額	貸方科目	金額
賃 諸 手 当	11,560,000 560,000	社会保険料預り金 所得税等預り金 現 金	1,734,000 1,950,000 8,436,000

すべて正解で⑩

問3

予定賃率 [⑤] 円／時間

賃率差異 [⑤] 円 不利差異の場合は金額の前に△を付すこと

問4

賃 金			
(諸 口)	[11,560,000]	(未 払 賃 金)	[2,660,000]
(未 払 賃 金)	[2,780,000]	(仕 掛 品)	[⑤] 7,891,600]
(賃 率 差 異)	[133,200]	(製 造 間 接 費)	[⑤] 3,921,600]
()	[]	()	[]

問5

原価差異は、材料受入価格差異を除き、原則として当年度の売上原価に賦課する。

材料受入価格差異は、当年度の材料払出高と期末在庫に配賦する。

比較的多額の原価差異は、当年度の売上原価と期末在庫に配賦する。

異常な状態に基づくものは非原価項目として処理する。 ⑩

○数字は予想配点

第221回 上級 管理会計 ①

問題1

問1

製品A [1,500] 円／個 製品B [4,800] 円／個
製品C [7,500] 円／個

全部正解で⑤

問2

損益分岐点の売上高 [⑤ 1,250,000,000] 円
安全余裕率 [⑤ 20] %
経営レバレッジ係数 [⑤ 5]

問3

製品A [1,000] 円／個 製品B [5,000] 円／個
製品C [7,750] 円／個

全部正解で⑤

問4

損益分岐点の売上高 [⑤ 1,397,480,000] 円

問5

目標税引前当期純利益 [⑤ 130,000,000] 円
目標営業利益 [⑤ 132,912,500] 円
目標売上高 [⑤ 1,643,500,000] 円

問6

投下資本利益率 [⑤ 24.1] %

第221回 上級 管理会計 ②

問題2

問1

製品A	[46,875] 円／個	製品B	[50,000] 円／個
製品C	[100,000] 円／個		

全部正解で⑤

問2

段取活動	[③ 5,940,000] 円
加工活動	[③ 13,020,000] 円
検査活動	[③ 3,460,000] 円
管理活動	[③ 2,580,000] 円

問3

製品A	[⑤ 36,440] 円／個	製品B	[⑤ 98,800] 円／個
製品C	[⑤ 120,560] 円／個		

問4

(② ユニット) レベル活動	(② バッチ) レベル活動
(② 製品) 支援活動	(② 施設) 支援活動

問題3

原価センター： 管理者が原価の発生状況についてのみ責任を有する構成単位	⑤

利益センター： 管理者が原価の発生状況のみならず、収益にも責任を有する構成単位	⑤

○数字は予想配点